

霞ヶ浦流入河川等の放射性物質モニタリング調査（第5回）及び 県管理ダム湖の放射性物質モニタリング調査（第2回）結果について

平成25年2月7日（木）
 （霞ヶ浦関係）生活環境部 環境対策課
 （ダム関係）生活環境部 原子力安全対策課

国（環境省）及び県が実施した、霞ヶ浦に流入する河川・水路及び湖内並びに県が管理するダム湖における放射性物質モニタリング調査の結果を、下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

記

1 霞ヶ浦流入河川及び湖内の調査結果について

(1) 調査地点

- ① 霞ヶ浦流入56河川・水路（56地点）
 [環境省調査] 24地点, [県調査] 32地点
- ② 霞ヶ浦湖内 [環境省調査] 8地点

(2) 調査期間：平成24年12月5日（水）～12月18日（火）

(3) 調査結果〔別添1～3参照〕

- ① 水質について
 流入河川及び湖内の全地点で、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも不検出（< 1 Bq/L）。
- ② 底質について
 - ア 放射性ヨウ素
 流入河川及び湖内の全地点で不検出。
 - イ 放射性セシウム

【流入河川】 県：112 ～ 2,500Bq/kg乾 [最大地点：乙堀川（行方市）]

国：29 ～ 4,100Bq/kg乾 [最大地点：清明川（阿見町）]

霞ヶ浦流入河川底質の放射性セシウム濃度（セシウム134+セシウム137） (Bq/kg乾)

	地点数	調査結果	
		範囲	平均
第1回調査（H23.8～10）	24	58 ～ 5,500	1,061 [24地点平均]
第2回調査（H24.2）	12	136 ～ 5,800	1,500 [24地点平均]
第3回調査（H24.5～7）	56(24+32)	42 ～ 4,800	639 [56地点平均]
第4回調査（H24.9～10）	56(24+32)	120 ～ 5,200	777 [56地点平均]
第5回調査（H24.12）	56(24+32)	29 ～ 4,100	719 [56地点平均]

第5回調査において放射性セシウム濃度の高い地点の数値の推移（セシウム134+セシウム137） (Bq/kg乾)

霞ヶ浦流入河川	放射性セシウム濃度の高い地点の数値の推移
①：第1回調査	清明川（勝橋，阿見町） ①1,420→②5,800→③2,130→④1,790→⑤4,100
②：第2回調査	備前川（備前川橋，土浦市） ①2,600→②228→③4,800→④4,500→⑤2,800
③：第3回調査	乙堀川（最下流部，行方市） ③950→④1,060→⑤2,500
④：第4回調査	
⑤：第5回調査	

【湖内】 国：93 ～ 630Bq/kg乾〔最大地点：霞ヶ浦（湖心）〕

霞ヶ浦湖内底質の放射性セシウム濃度（セシウム134+セシウム137）

(Bq/kg乾)

	地点数	調査結果	
		範囲	平均
第1回調査（H23.8～10）	8	130 ～ 340	256〔8地点平均〕
第2回調査（H24.2）	8	143 ～ 1,300	557〔8地点平均〕
第3回調査（H24.5～7）	8	106 ～ 610	262〔8地点平均〕
第4回調査（H24.9～10）	8	97 ～ 520	232〔8地点平均〕
第5回調査（H24.12）	8	93 ～ 630	253〔8地点平均〕

第5回調査において放射性セシウム濃度の高い地点の数値の推移（セシウム134+セシウム137）(Bq/kg乾)

霞ヶ浦湖内											
①：第1回調査	霞ヶ浦（湖心）	①	221→	②	900→	③	178→	④	151→	⑤	630
②：第2回調査	霞ヶ浦（玉造沖）	①	330→	②	1,300→	③	228→	④	201→	⑤	370
③：第3回調査	霞ヶ浦（掛馬沖）	①	340→	②	440→	③	610→	④	430→	⑤	252
④：第4回調査	(参考)										
⑤：第5回調査	北浦（釜谷沖）	①	130→	②	1,000→	③	510→	④	520→	⑤	239

2 県管理ダム湖調査結果について

(1) 調査地点

① ダム湖内〔県調査〕全7ダム（7地点）

(2) 調査期間：平成24年12月14日（金）～平成25年1月16日（水）

(3) 調査結果〔別添4，5参照〕

① 水質について

ダム湖内の全地点で，放射性ヨウ素，放射性セシウムとも不検出（< 1 Bq/L）。

② 底質について

ア 放射性ヨウ素

ダム湖内の全地点で不検出。

イ 放射性セシウム

61 ～ 480Bq/kg乾〔最大地点：水沼ダム〕

ダム湖底質の放射性セシウム濃度（セシウム134+セシウム137）

(Bq/kg乾)

	地点数	調査結果	
		範囲	平均
第1回調査（H24.10）	7	72 ～ 1,060	360〔7地点平均〕
第2回調査（H24.12～H25.1）	7	61 ～ 480	310〔7地点平均〕

(参考) 環境省が実施した県内の公共用水域における放射性物質モニタリングの測定結果について(平成24年10月-12月採取分)

(1) 調査地点: 70地点〔河川(53), 湖沼(12), 沿岸域(5)〕

※ 霞ヶ浦流入河川(24)及び湖内(8)を含む

(2) 調査期間: 平成24年10月22日(月)~12月27日(木)

(3) 調査結果〔別添6参照〕

① 水質について

全70地点で, 放射性ヨウ素, 放射性セシウムとも不検出(<1Bq/l)。

② 底質の放射性セシウムについて(放射性ヨウ素は, 全地点で不検出)

底質の放射性セシウム濃度(セシウム134+セシウム137)

(Bq/kg乾)

	河川	湖沼	沿岸域
第1回調査 (H23.8~10)	不検出 ~ 5,500 〔93地点平均: 794〕	57 ~ 1,840 〔12地点平均: 411〕	不検出 ~ 173 〔23地点平均: 53〕
第2回調査 (H24.2)	不検出 ~ 5,800 〔35地点平均: 759〕	143 ~ 1,300 〔12地点平均: 526〕	21 ~ 230 〔5地点平均: 106〕
第3回調査 (H24.5~7)	不検出 ~ 4,800 〔53地点平均: 495〕	106 ~ 1,090 〔12地点平均: 343〕	不検出 ~ 64 〔5地点平均: 43〕
第4回調査 (H24.7~9)	不検出 ~ 4,500 〔47地点平均: 563〕	97 ~ 1,170 〔12地点平均: 338〕	不検出 ~ 69 〔3地点平均: 36〕
第5回調査 (H24.10~12)	不検出 ~ 4,100 〔53地点平均: 490〕	93 ~ 1,210 〔12地点平均: 355〕	不検出 ~ 52 〔5地点平均: 26〕

※ 放射性セシウムの検出下限値は, セシウム134, 137各々10Bq/kg乾